

療考会NEWS 9月号



【活動報告】 2022.8.24付、進路の 会と療考会より未就園障 がい児進路に関する陳情 書を提出しました

参加者

- ・福岡市
こども未来局…3名
- ・市議会議員教育
こども委員会…6名
- ・進路の会…4名
- ・療考会…5名

陳情書の主な内容

- ①待機児童の解消
- ②民間療育施設の参入の要望
- ③ST・OT等専門職員による個別指導・相談の充実
- ④兄弟児託児環境の整備・家族のサポート支援
- ⑤単独通園に伴う利用時間の延長・延長保育の実施
- ⑥幼稚園・保育園との並行通園による療育の強化
- ⑦幼稚園・保育園・療育施設との連携の強化
- ⑧幼稚園・保育園での障がい児を理由とした受け入れ拒否の廃止、幼稚園での加配制度の導入
- ⑨療育園の入園手続き完了までの期間の短縮化
- ⑩日中一時支援の拡充
- ⑪障がい児に関する情報が集約されたハンドブックの作成及び同内容の福岡市ホームページでの公開



当日話し合いの流れ



①進路の会による陳情書の読み上げ

②肢体不自由児の保護者より補足意見

③意見交換会

※意見交換会の中で療考会から障がい児を持つ親の苦悩や環境の不備をリアルな声として訴えました



主な内容

A. 日中一時の預け先がいかに少ないか、特に肢体不自由児の医療ケアを必要とする預け先がほとんどないこと

B. ハンドブックの作成は数年前から約束されているので、今年こそ作成してほしいこと

C. 3歳児からの児童発達支援センターの待機児童数は統計上で減少しているが学区外通園しながらの転園待機や申請取り下げ等、実際は入園したくてもできなかった児童は少なくないこと



※市議会議員の方々が福岡市との間に立ち私たちの陳情を全面サポートしてくださいました

今後について...

例年、1月に福岡市より陳情に対する回答をしていただいていたのですが、今年は1月までの間に途中経過の報告や意見交換の場を設けることになりました。これは昨年までにはないことで、とても大きな一歩と言えます。



進路の会 との連名 の目的

- ①進路の会と療考会の連携により、未就学児全体で困っている現状を伝え、改善を求める
- ②両会の交流により、進路の会の先が療考会であることの認識を高め、不安の軽減や継続した活動に努めることを目指す
- ③陳情の準備について協力体制をとることにより、作業の効率化や負担軽減を検討する

今後も進路の会と療考会は協力しあい、次回の意見交換の場にも療考会は参加させていただき、より良い療育環境、しいては障がい児をもつ親と障がい児の生活環境向上のために活動していきます。



※進路の会の紹介※

2歳児親子通園の進路を考える会（略称：進路の会）

設立：1996年・1997年と2年連続で起こった単独通園施設の待機児童の解消のため1997年に結成された母の会が母体となっている。

目的：障がいや発達に遅れがある子供達が、就学までの間個々の状況に適した園で、より良い保育が受けられるよう、行政へお願いすることを目的として毎年陳情を行っている。